

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考
「子どもの最善の利益」って何だ？

[本棚] 古典の散歩道
『星の王子さま』

[子ども学探訪] 倉橋惣三とキンダーブック
戦時体制の中の「オハナシ」

秋

2014

since 1901



「小さな
秋
みつけた!!」

子どもの情景

目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

【写真】

子どもの情景 ①

【目次 まで】

子どもを守り育むため ②

【特集】

保育現場で気になるコトバ考 3

「子どもの最善の利益」って何だ？

「安心」という言葉を知らないくらい安心の中で生きること 青木悦 ④

今回の特集について ⑧

子どもの権利の視点から 大田祈子 ⑩

よりどころとなる環境の中で育つ 笹川加奈子 ⑭

『幼児の教育』アーカイブズから 解説・矢萩恭子 ⑱

【シリーズ】

子どもが育つ場所から

大イチョウの下で 大橋利恵子 ⑳

【実践研究】

私の保育ノート

物理的環境について 布川篤史 ㉓

人と人とのつながりの中で 石塚美穂子 ㉖

【保育エッセイ】

保育の世界を豊かに生きる子どもたち ③

一斉活動を創造的に生きる 櫻沢良彦 ㉔

【本棚】

古典の散歩道

『星の王子さま』 高橋洋代 ㉗

【子ども学探訪】

編輯顧問 倉橋惣三 とキンダーブック ⑪

戦時体制の中の「オハナシ」 浜口順子 ————— 53

【論考】

「食育」で問う「子どもの視点」とは？

吉田隆子 ————— 58

【報告】

大規模改修工事の中で

— 子どもたちと創り上げた工事中の保育 — 宮里暁美 ————— 64

【子ども学のひろば】

イベント・メディア情報・読者投稿・編集後記 ————— 71

まど

子どもを守り育むため

「子どもの最善の利益」を特集した。難しいテーマである。

30年前の1984年、中曽根内閣は臨教審を設置し「教育の自由化」を掲げ、「個性重視」「生涯教育」など従来の学校教育の在り方の転換を図った。当時オランダに留学していた筆者は、「自由教育の国」を見ようと視察や取材に訪れる日本人のガイド役をよく頼まれた。でも、当のオランダ人のほうは「自由教育？ 宗教の壁を越えて教育の自由を獲得してきたことはわが国の歴史だが、自由教育という言い方はしない。教育が自由なのは当然だから」。近代化に向

け官制の教育が初めから一斉に敷かれたわが国との違いを思い知らされる。

一方で、日本の乳幼児の保育・教育をめぐるっては、学校教育という網から幸か不幸かこぼれ落ちやすかったおかげだろう、時には親の労働や貧困ゆえに生存権すら脅かされる子どものために、大人たち、多くの女性たちが、知恵をしぼり助け合い偏見とたたかいながら、よりよい環境を求め実現してきた歴史がはっきりと見える。社会の盾となり子どもの最善の利益を守り育もうとする営みが、学校教育に比べおのずから板についてきたのではないか。(H)

編集後記

秋を代表する味覚の一つにクリがあります。クリは、新緑の色深まる5月下旬から梅雨の時期にかけて花をつけ、大変独特の匂いを放ちます。花の季節、わが家近くの栗畑の脇を通る大人は皆、そのむせるような、こもった匂いに顔をしかめ、子どもたちはあからさまに鼻をつまみます。

子どもの五感の鋭さについては今号の記事の中でも何人かの著者が触れていますが、「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」のうち、匂いに関しては、それがとても本能的な感覚であるためか、一般に、あまり表現もされず、むしろ、積極的に話題にするのを避けることが多いようにも思います。

けれども、思い出には匂いの記憶も欠かせない要素なのではないかと思うことがあります。私が一番はじめに通った幼稚園は、こじんまりとして古ぼけた園でしたが、毎日出される温かいスキムミルクと

ストーブの甘い匂いが漂う、生活感あふれる園でした。そこが手狭になったため、翌年、新しい園舎に移った時、広くてピカピカの建物にはしゃぎながらも何となく物足りなさを感じたことを覚えています。

あまりなじめないまま卒園してしまったその園に、30年の時を経て、わが子が通うことになりました。年月のうちに改築が重ねられたのでしょうか、こんなだったかなと淡泊な感慨しか持てなかったのですが、ある日、階段の踊り場に張られた展示物を見つけた時、当時の記憶が鮮やかによみがえってきました。それは卒園制作として全員で取り組んだタイル画でした。私の記憶を呼び覚ましてくれたのは、そのデザインではなく、制作で使った木工用の接着剤の、ツーンとした酸っぱい匂いの記憶でした。ああ、確かに自分はここに居たのだと、大きく呼吸しながら懐かしくそのタイル画を見直したのです。(TK)

次号予告 幼児の教育冬号 2014年12月刊行予定

新企画も好評! 充実した内容でお届けします。

特集 保育現場で気になるコトバ考 4 - 「評価」って何だ? - 神長美津子氏ほか

シリーズ 子どもが育つ場所から
「保護者と子どもの心に寄り添う保育を」(東北の幼稚園から)

コーナー 古典の散歩道 第4回 佐治 恵氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 秋号 第113巻 第4号

平成26年10月1日発行
編集発行人/浜口順子
編集担当/田中恭子
発行所/日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館
電話:03-5395-6604(編集)
振替/00190-2-19640
印刷所/図書印刷株式会社
定価/本体741円+税
©日本幼稚園協会 2014 Printed in Japan

編集委員/伊集院理子
菊地知子
高橋陽子
灰谷知子
編集協力/フレーベル館

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

子どもがあそびたくなる 草花のある園庭と季節の自然あそび



子どもがあそびたくなる
草花のある園庭と
季節の自然あそび

大豆生田啓友先生、小西貴士先生、
ひかりの子幼稚園、めぐみの子幼稚園

四季の自然あそびのヒント
園庭の自然あそび
季節の自然あそび
園庭の自然あそび
季節の自然あそび

10944

自然あそびが変わる！

子どもがあそびたくなる自然環境づくりと
自然を使った保育のアイデアがいっぱいです。
「保育ナビ」人気連載中の
大豆生田啓友先生、
表紙写真家小西貴士先生の最新刊！

内容

- ★ 1章 四季を感じる 自然あそび
- ★ 2章 子どもとつくる 四季の味
- ★ 3章 草花いっぱいのお園庭づくり
- ★ 4章 子どもとつくる 四季の行事

大豆生田啓友／編著 小西貴士／写真協力
ひかりの子幼稚園・めぐみの子幼稚園／著

定価 本体 1,700円＋税 26×19cm 80ページ

ポイント
↑

身近な自然を使ったあそびのアイデア



ポイント
2

写真とイラストを多用しわかりやすい！

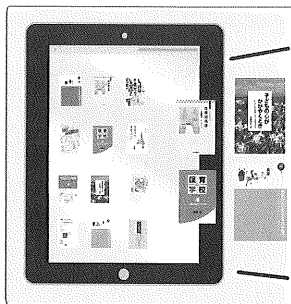


子育てにお役立ち！ **130** タイトル以上

フレーベル館の電子書籍

子育て・
保育eブックス

長年の知恵を電子書籍化！



携帯して、いつでも読める

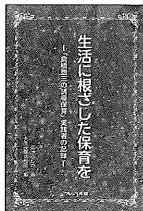
何冊買っても、かさばらない

フレーベル館では、子育て家庭と保育業界に向けて、保育図書を中心にデジタル化した、新しい電子書籍のシリーズを配信しています。ぜひ、ご活用ください！

電子書籍・最新刊はこちら

生活に根ざした保育を

—「倉橋惣三の誘導保育」実践者の記録—
菊池ふじの/著 大泉双葉幼稚園/編



「倉橋惣三の誘導保育」実践者である著者が、『幼児の教育』（昭和11～42年頃）に執筆した原稿を収録。著者の「保育観」「誘導保育実践のあり方」などがわかる。

定価/本体1,500円+税

『かかわりのなかで育ちあう』分冊版

諏訪きぬ/編著



ロングセラー『かかわりのなかで育ちあう』が年齢別に分冊化。3年間の保育記録の中で、0～5歳児に向き合う保育者の姿から、乳幼児とのかかわりや発達がわかる実践記録。写真と事例が満載。（全6冊）

定価/本体各180円+税

どろんこ保育

塩川寿平/著



「どろんこ保育」が子どもに働きかける力と重要性、どろんこ保育のやり方などについて、40年に及ぶ保育現場での実践と研究をまとめた「どろんこ保育」の入門書&決定版。

定価/本体1,400円+税

- ①かかわりのなかで育ちあう
特定の保育者を求める子どもたち—0歳児の発達と保育—
- ②かかわりのなかで育ちあう
自我の芽生えた子どもたち—1歳児の発達と保育—
- ③かかわりのなかで育ちあう
好きな遊びにこだわる子どもたち—2歳児の発達と保育—
- ④かかわりのなかで育ちあう
“仲よし探し”に懸命な子どもたち—3歳児の発達と保育—
- ⑤かかわりのなかで育ちあう
自己を競い合う子どもたち—4歳児の発達と保育—
- ⑥かかわりのなかで育ちあう
友だちのなかで育つ子どもたち—5歳児の発達と保育—

●取り扱い電子書店

SONY Reader™ Store (リーダーストア)、紀伊國屋書店BookWeb、BookLive! (ブックライブ)、セブンネットショッピング、GARAPAGOS STORE (ガラパゴス ストア) 等の電子書店にて販売



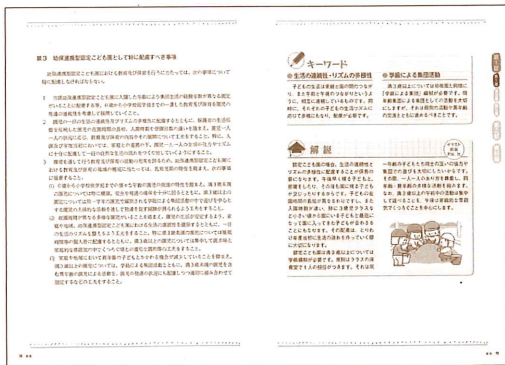
認定こども園での実践にすぐ役立つ 幼稚園・保育所は今後の基本資料に



はじめての幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ガイドブック

無藤 隆 / 著 定価 本体1,000円+税 26×19cm 128ページ

平成26年4月30日に告示された幼保連携型認定こども園教育・保育要領の全文を解説。認定こども園の保育者はもちろん、預かり保育を行う幼稚園、教育機能に力を入れる保育所の保育者にとっても、参考になる1冊です。



忙しい全ての保育者の法令理解をサポート

- 1 3つのステップで、1からわかる!
 - 2 要領・指針との関係がわかる!
- 【幼保連携型認定こども園教育・保育要領】
【幼稚園教育要領(平成20年告示)】
【保育所保育指針(平成20年告示)】
の比較表で、
条文の対応関係が一目でわかります。

34520

実践に役立つ
イラスト解説付き!

条文・キーワード・解説が見開きで読みやすい

POINT1 3つのステップで、1からわかる!

1 条文

2 キーワード

3 解説

を見開きで展開。条文のポイントが体系的に理解できます。

POINT2 要領・指針との関係がわかる!

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
「幼稚園教育要領(平成20年告示)」
「保育所保育指針(平成20年告示)」
の比較表で条文の対応関係が一目でわかります。

幼保連携型認定こども園
教育・保育要領

幼保連携型 認定こども園 教育・保育要領 〈平成26年告示〉

フレーベル館/編
定価 本体150円+税
21×15cm 32ページ

34510

平成26年告示の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の全文を掲載。

お求めやすい価格です!

定価 本体七四一円+税

キナーブックの **フレーベル館**

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所
または本社営業推進部(03)5395-6608にお問い合わせください。